

事業 優先順位		2	細事業:救急・救助事業					整理 番号		01	
目 的		市民の生命、身体を守るための救急、救助活動を円滑に実施すること。									
目 標		市民の生命、身体を守るため各種訓練の実施、資機材の購入。市民に対し救命率向上のためバイスタンダーの指導。メディカルコントロール協議会を通じた医療機関との連携強化や救急隊員の教育実施。									
事業 実施主体		直営	事業開始 年	昭和64年度以前	根拠 法令	消防法第1条					
事業費・財源				平成24年度	比 較	コスト情報・従事職員数				平成24年度	比 較
	事業費（決算額）（千円）			5,942			総コスト（千円）			8,323	
	財源内訳	一般財源		5,942			内訳	事業費		5,942	
		国府支出金		0				人件費		2,381	
		地方債		0				公債費		0	
		その他特定財源		0				一人あたり（円）		74	
				0				世帯あたり（円）		176	
				0			参考	職員数（人）		0.30	
				0				再任用職員数（人）		0.00	
	今後の方向性		増加する救急需要への対応。								
評 価	妥当性	効率性	有効性	対象者	河内長野市民						
	A	A	A								



細事業：救急・救助事業

1. 救急

年々増加傾向にある救急需要に適切に対応するため、応急処置用消耗品や応急手当普及啓発用消耗品の補充に努めた。また、南河内メディカルコントロール協議会により、救急隊員の活動に対し医学検証を受け、その結果を全救急隊員へフィードバックし、救急活動能力の維持、向上を図った。

< 救命講習等実施状況 >

講習名	救命入門 コース ※心肺蘇生法 AED使用方法	普通救命 講習Ⅰ ※救命入門コース に応急手当	普通救命 講習Ⅱ ※普通救命講習Ⅰ にテスト	普通救命 講習Ⅲ ※小児乳児に 対しての心肺蘇 生法、AED使 用方法	その他の 講習	合計
講習回数	18回	52回	3回	2回	6回	81回
受講者	330人	1032人	43人	60人	136人	1601人

南河内メディカルコントロール協議会に共同参画するための協議会負担金 70,000円

< 医学検証実施状況 >

実施回数	負担金
64件	320,000円

2. 救助

複雑・多様化する救助事案に適切に対応するため、救助消耗品や訓練用消耗品の補充に努めた。また、近年増加する登山者が山岳で負傷した場合に、より迅速で確実かつ安全な救助活動ができるように、山岳救助資機材の整備を図った。

山岳救助用資機材整備費 1,199,475円

